

午後Ⅱ試験

全問共通

全問に共通して、自らのマネジメントの経験と考えに基づく論述が多かった。一方で、問1ではコミュニケーションの改善の記述にとどまる、問2ではプロジェクト完了のリスクだけの記述にとどまるなど、設問で問うている内容に明確に解答できていない論述が散見された。また、マネジメントの視点を欠いた、チームのマネジメント手法の説明や技術的なリスク対応策の記述に終始した論述も散見された。プロジェクトマネジメント業務を担う者として、プロジェクトの問題に対して、マネジメントの視点で問題の原因を分析し対応する姿勢を明確にした論述を心掛けてほしい。

問1

問1では、システム開発プロジェクトにおける人間的側面に着目したチームの育成計画、及びその実行の過程での行動について、工夫したこととを含めて具体的に論述することを期待した。多くの受験者は、人間的側面に着目した育成計画を実行する過程において、QCDや勤務実績などの定量的な情報、会議や面談時での定性的な情報によって評価する、改善するなどの取組を具体的に論述しており、実際の経験に基づいて論述していることがうかがわれた。一方で、技術的側面だけに着目した育成計画や、コミュニケーションの改善にとどまり育成計画にはなっていない論述も見受けられた。プロジェクトマネジメントを担うものとして、技術的側面だけではなく人間的側面にも着目したメンバーとチームの育成に関するスキルの習得に努めてほしい。

問2

問2では、システム開発プロジェクトにおける円滑な稼働開始を危うくするリスクに対し、コストや期限などの制約を考慮して策定した対策や、対策の実行状況に応じた対応などについて、対策の有効性などを含めて具体的に論述することを期待した。多くの受験者は、リスクの特定や評価、及びその対策について具体的に論述しており、リスク対策に関する実際の経験がうかがわれた。一方で、円滑な稼働開始と関連性の薄い要件をあげたり、要件を満たすために重要ではない稼働開始リスクを特定したりするような論述も見受けられた。プロジェクトマネジメントを担うものとして、システムを完成させるだけではなく、システムを円滑に稼働開始させるためのマネジメント能力の向上にも努めてほしい。